

特集 "青葉のUD-House"



リビングからダイニング・キッチンを見る。左手にはロフトと水回り。



東側ファサード。道路側に対しては比較的に閉じた表情をしている。

仙台市青葉区、市街地から程近い住宅地に建つ平屋の住宅である。設計当初からバリアフリー住宅であることが条件になったが、バリアフリーに特化したデザインとはせず、いかにユニバーサル・デザインになり得るかを設計の大きな目標として掲げた。

住宅全体はリビングを中心に、ダイニング・キッチン、水回り、個室、和室が配置され、リビング南側には和室と寝室囲われたデッキを設けた。このデッキは道路からの視線も届きにくく、外部でありながらプライベート感のある中間領域となっている。キッチン・ダイニング・リビングは、ロフトのある傾斜天井のおおらかな一室空間になっており、和室も建具を開放することで、ダイニング・リビングと一体の空間として機能する。西側にはハイサイドライトを設け、午後からの陽をリビング奥やダイニング・キッチンまで取り込む。

キッチンは住宅の東側に配され、住宅内ほぼ全体を見渡すことができる。また玄関前ポーチから食品庫を通して直接アクセスすることが可能であり、家事の効率化を図っている。

キッチンは生活者の身体特性に合わせた特注の製作キッチンとしている。既成のステンレスシンクや調理機器と、家具工場のキャビネットを組み合わせて、細かな寸法のアジャストにより車椅子での使用にもストレスを感じさせない。ホワイトとシルバーを基調としたカラーリングもインテリアに溶け込み、オーダーキッチンならではのコーディネート感が得られている。

低層の住宅が軒を連ねる良好な住宅地の中で、そこから突出しない佇まいとすく、周辺環境の中にしっくりと収まるスケールをスタディした。



リビングからダイニング・キッチンスペースを見る。左手にエントランススペース、右手に和室空間。



ダイニングからリビングを見る。左手に和室と寝室に囲われたデッキ。右手上部にロフト。



ダイニング・キッチンと一体の和室空間。FL+450、床下は引出し収納。

スタッフの日常・非日常 vol.49



所長の代理で地鎮祭に行ってきました。二礼二拍手一礼、鎌を持って「エイ！エイ！エイ！」と。地鎮祭では設計者が「鎌」で草を刈る仕草、施主様が「鋤」で土を起す仕草、施工者が「鍬」で土を均す仕草をします。この儀にはどのような意味があるのか、今までは分からずやっていたのですが、ちょっと調べてみたら、それぞれ「初めてその土地でそういう行為をします」ということでした。なるほどな～と思って写真を見返すと、塀の工事がすでに始まっていました。なんと。お施主様とは初めてお会いしましたが、豪華な食事をごちそうになって大層なお土産まで頂いてしまいました。ありがとうございます。足を向けて寝られませんか。

今月のマテリアル



キヌカ

「青葉の UD-house」でお客様がフローリングを自力塗装した材料がこのキヌカです。お米(ヌカ)から生まれた100%自然塗料！人の肌への刺激も蒸留水並の安全性！無臭の自然塗料で、小さなお子様も安心してすし無垢のフローリングとの相性もとてもいいそうです。完全に乾燥するまでの時間がやや長いのが難点ですが、家族で楽しみながら自力で塗装するには良い材料ですね。何せ米ですから。



編集後記

みなさん、こんにちは。6月も半ばになりました。このところ北東北は初夏を思わせる好天が続いています。一雨くれば梅雨入りだと思いますが、あと数日爽やかな天候を楽しみたいと思います。さて、ご案内のとおり、6月21日(木)から24日(日)まで、SAU+建築作品展に出展いたします。この企画のお誘いは年明け早々の1月頃にいただきまして、勢いで「やる！」と言ってしまったものの計画的に準備を進めるわけも無く、気が付けば開催は目前に迫っているという状況です(汗)会場は仙台メディアテークのオープンスクエア。予算もかかってますし、あまり恥ずかしい展示はできません。どうしたものか・・・結局は最後の1週間が勝負になるんだな、他の建築家も同じだと思います。仙台にお住まいの方、来週の週末仙台に用事のある方、是非メディアテークにお出でいただき SAU+建築作品展をご覧ください。何かにゆくり取り組める、ということなど一生無いたと思います。常にその時その時の状況に応じて、自分ができる事に全力を尽くす。それしかありません。それでは次回もお楽しみに。



仙台オフィス近くのそば屋でご飯を食べる加藤。顔は割愛。この時はカツ丼セット。そばもカツ丼もレギュラーサイズで、美味しいですがとてつもなくお腹いっぱいになりました。

SAU+住宅作品展2012



□SAU+建築作品展 2012  
「東北の住宅が変わる」  
6/21(木)～24日(日) 10:00～20:00  
せんだいメディアテーク  
1F オープンスクエア

SAU+結成 10周年記念イベント。「震災後の新しい住宅の提案」、「建築家と人々との係わり合いについての具体的な提案」、「チャイムTV (SAU+を紹介するWEBサイト)の宣伝」の3つを通し、建築家が担う地域とのつながりを広くアピールすることを目的としています。会場では建築家ごとにブースを設け、パネル、模型、映像等でこれまで手がけた作品を展示し、活動の成果を一般に紹介します。また、22～24日には、パネルディスカッションを開催予定。24日(日)15時から住宅雑誌 Replan 編集長をコーディネーターに、地域ハウスビルダーやハウスメーカーなどをパネリストに迎え、「震災後の新しい住宅とは」とのテーマでパネルディスカッションを行います。23日(土)に実施されるビバパーティは、SAU+のメンバーと気軽に触れ合う絶好の機会。これまで実際に家を建てた顧客を招待し、建築家とともに家をつくるメリットを生々の声で語ってもらうなど、楽しくなる企画も予定されています。

24日(日)14:30～15:00  
加藤一成がプレゼンテーションを担当させていただきます。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
TEL. 022-739-8931 018-831-4315  
FAX. 022-739-8932 018-831-4316  
HP. http://www.issei-design.com/  
BLOG. http://www.issei-design.com/blog/  
MAIL. info@issei-design.com